

平成20年度感染制御認定薬剤師認定試験

出題基準と範囲

1. エビデンスに基づいた感染対策
 - 1) 標準予防策と感染経路別予防対策が説明できる。
 - 2) 手指衛生について説明ができる。
 - 3) 血管内留置カテーテル感染対策について説明できる。
 - 4) 尿路留置カテーテル感染対策について説明ができる。
 - 5) 手術部位感染防止(SSI)について説明ができる。
 - 6) 病院環境整備と環境微生物調査について説明ができる。
 - 7) 医療器材の洗浄と滅菌方法について説明ができる。
 - 8) エビデンスが明らかでない感染対策について説明ができる。
2. 病院感染対策の経済性
 - 1) 病院感染対策の経済性の評価方法について説明ができる。
 - 2) 病院感染発生による増分原価について説明ができる。
3. 病院感染対策における薬剤師の役割
 - 1) 感染制御チーム(ICT)の業務について説明ができる。
 - 2) 感染制御薬剤師の役割を説明できる。
 - 3) 医療現場における手指衛生のための CDC ガイドラインを理解している。
 - 4) 医療施設における環境感染管理のための CDC ガイドラインを理解している。
 - 5) 医薬品(消毒薬、抗菌薬)の適正使用について説明ができる。
 - 6) PK/PD について説明ができる。
 - 7) 消毒薬、抗菌薬の使用統計の意義について説明ができる。
 - 8) 病棟などの巡回指導のポイントについて説明ができる。
 - 9) 感染対策マニュアルの作成・改訂のポイントについて説明ができる。
4. 微生物の知識
 - 1) 微生物(細菌、真菌、リケッチア、クラミジア、ウイルス)の形態など概要を説明ができる。
 - 2) 病院・施設内感染に関連する主要微生物について説明ができる。
 - 3) 感染症法の類別感染症と原因微生物について説明できる。
5. 留意すべき細菌・真菌感染症とその病院感染対策
 - 1) 細菌感染症とその対策について説明ができる。

- 2) 薬剤耐性菌感染症について説明ができる。
- 3) 真菌感染症その対策について説明ができる。
6. 留意すべきウイルス感染症とその対策
 - 1) 血液由来ウイルス感染症について説明ができる。
 - 2) 呼吸器ウイルス感染症について説明ができる。
 - 3) 消化器系ウイルス感染症について説明ができる。
 - 4) 発疹性ウイルス感染症について説明ができる。
7. HIV 感染症
 - 1) HIV の感染経路について説明ができる。
 - 2) 標準予防策と針刺し事故防止対策について説明ができる。
 - 3) 暴露後の予防対策について説明ができる。
 - 4) 病院感染対策について説明ができる。
8. 性感染症
 - 1) 性感染について説明ができる。
 - 2) 最近の動向および蔓延防止について説明ができる。
 - 3) 主な性感染症の診断と治療について説明ができる。
9. 尿路感染症とその対策
 - 1) 尿路留置カテーテルの管理について説明ができる。
 - 2) 尿路感染における MRSA および緑膿菌への対応を説明ができる。
 - 3) 複雑性尿路感染症全般について説明ができる。
10. 疥癬とその対策
 - 1) 疥癬の生態、診断、臨床症状について説明ができる。
 - 2) 疥癬の治療薬について説明ができる。
 - 3) 環境消毒について説明ができる。
 - 4) 医療スタッフへの教育について説明ができる。
11. 新興・再興感染症
 - 1) 新興・再興感染症について説明ができる。
 - 2) 耐性菌による感染症について説明ができる。
12. 抗菌薬の選び方
 - 1) 抗菌薬投与前に把握しておくべき患者状態について理解している。
 - 2) 初期治療における抗菌薬の選択について説明ができる。
 - 3) 治療効果の判定と抗菌薬の見直しについて説明ができる。
 - 4) 感染予防としての抗菌薬の投与について説明ができる。
13. 抗菌薬と TDM
 - 1) 抗 MRSA 薬の特徴について説明ができる
 - 2) 抗 MRSA 薬の TDM について説明ができる。

14. 抗菌薬の使用上の留意点

- 1) 抗菌薬化学療法の原則について説明ができる。
- 2) 抗菌薬の投与方法、投与量、投与期間について説明ができる。
- 3) 腎障害、肝障害時の投与方法について説明ができる。
- 4) 小児、高齢者、妊婦への投与の留意点について説明ができる。
- 5) 抗菌薬の安全性、特徴的副作用について説明ができる。
- 6) 抗菌薬の主な相互作用について説明ができる。

15. 抗菌薬の適正使用の推進

- 1) サーベイランスの必要性について説明ができる。
- 2) エンペリック・セラピー実施の問題点について説明ができる。
- 3) 抗菌薬、分離菌についての資料作成について説明ができる。
- 4) 院内教育、マニュアルの作成について説明ができる。

16. 注射薬の無菌調製、輸液調製

- 1) 注射薬投与時のリスクについて説明ができる。
- 2) 注射薬調製時の汚染リスクについて説明ができる。

17. 消毒薬の適正使用

- 1) 消毒薬別の殺菌スペクトルについて説明ができる。
- 2) 生体に使用する消毒薬の種類、濃度について説明ができる。
- 3) 医療器材に使用する消毒薬の種類、濃度について説明ができる。
- 4) 環境に使用する消毒薬の種類、濃度について説明ができる。
- 5) 消毒薬の有害作用について説明ができる。

18. 医療廃棄物

- 1) 医療廃棄物について説明ができる。
- 2) 医療廃棄物の適切な処理について説明ができる。
- 3) 感染性・非感染性廃棄物の処理について説明ができる。
- 4) 医薬品容器包装等の廃棄対策について説明ができる。
- 5) 在宅医療廃棄物の取り扱いについて説明ができる。

参考図書

- 薬剤師のための感染制御マニュアル第2版
(日本病院薬剤師会編)
- 抗菌薬使用ガイドライン
(日本感染症学会、日本化学療法学会編) 共和企画
- インфекション・コントロールのための CDC ガイドライン集
(監訳 満田年宏) 国際医学出版
- ICTのための感染対策トレーニングブック
(監修 大久保憲) メディカ出版